

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|-------------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 1 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度「日本芸術文化振興会ニュース」製造及び発送業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 勝美印刷株式会社 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年1月20日 入札公告 | |
| | 平成27年1月30日 競争参加申請書類提出〆切 | |
| | 平成27年2月4日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は56日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は15日間11営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 前回の落札金額が低いため、実績額と同等での請負は困難。発送業務を外部に委託しなければならず、手間がかかる。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 製造と発送の業務を分割して仕様内容を見直し、より参加しやすい方向に改善する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 改善策の方向で適切な措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 仕様の性質を踏まえ、業務内容を分割した上で、より参加しやすい方法により業者を選定する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 2 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27・28年度国立劇場構内の電話設備保守等業務委託 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 沖電気工業株式会社 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年3月3日 入札公告 | |
| | 平成27年3月13日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年3月19日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | × | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は13日間しか確保できなかった。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は16日間12営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | × | |
| 回答内容 | | |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 十分な業務等準備期間を確保するとともに、機器の特性を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 機器の特性を確認し、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 機器の特性を踏まえ、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式を随意契約とする。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|-------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 3 | |
| 入札及び契約方式 | 公募 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度メール便請負業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 日本郵便株式会社 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年2月27日 入札公告 | |
| | 平成27年3月27日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年3月27日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | × | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は5日間しか確保できなかった。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は28日間20営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | B4判(国立劇場カレンダーサイズ)のメール便を取り扱わないため、要件を満たさなかった。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 十分な業務等準備期間を確保するとともに、発送物の性質を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、仕様の一部(B4判)を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 仕様の性質を踏まえて、競争参加の可否を調査した上での適切な改善措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 仕様の性質を踏まえ、業務内容を分割した上で、より参加しやすい方法により業者を選定する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|------------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 4 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度国立劇場特別高圧受変電設備等定期点検整備業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社明電エンジニアリング東日本 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年4月13日 入札公告 | |
| | 平成27年4月23日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年4月27日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 年間の保守業務から特定期間(5月～9月)の点検整備業務に変更するとともに、業務責任者及び業務担当者の実務経験及び資格要件等を緩和・業務内容を反映した業務名称に変更した。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は65日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は14日間10営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 他メーカーの設備及びシステムの保守業務は困難。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 機器の特性を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 機器の特性を確認し、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 機器の特性を踏まえ、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式を随意契約とする。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|--------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 5 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27・28年度国立劇場本館等舞台及び楽屋業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社パシフィックアートセンター | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年3月2日 入札公告 | |
| | 平成27年3月12日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年3月18日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 複数年契約にすることにより、業者の安定的な業務継続ができるよう見直しを図った。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | × | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は14日間しか確保できなかった。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は16日間12営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 参加資格を満たさなかった。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 劇場特有の業務であり、十分な業務等準備期間を確保するとともに、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 劇場特有の業務であり、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 業界の状況を調査し、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

- (注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
- (注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
- (注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|--|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 6 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度公演記録映像収録カメラマン、ビデオエンジニア等派遣業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社エヌ・エス・ティー | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年2月19日 入札公告 | |
| | 平成27年3月3日 競争参加申請書類提出×切 平成27年3月9日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | × | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は23日間しか確保できなかった。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は18日間12営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 舞台芸術収録に経験を有するスタッフを通年で派遣することが難しい。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 劇場特有の業務であり、十分な業務等準備期間を確保するとともに、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を含めた改善策を検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 劇場特有の業務であり、契約方式の見直しを含めた改善策は適切な措置と認める。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 業界の状況を調査し、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|---------------------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 7 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度公演記録映像収録カメラ及び映像切替器の保守業務(本館・演芸場) | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 池上通信機株式会社 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年1月22日 入札公告 | |
| | 平成27年2月2日 競争参加申請書類提出〆切 | |
| | 平成27年2月5日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は55日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は14日間10営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 参加資格を満たさなかった。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 機器の特性を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 機器の特性を確認し、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 機器の特性を踏まえ、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|--------------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 8 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度公演記録映像収録設備保守管理業務(本館・演芸場) | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社アニキ | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年2月2日 入札公告 | |
| | 平成27年2月12日 競争参加申請書類提出〆切 | |
| | 平成27年2月19日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は41日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は17日間12営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | |
| 回答内容 | | 回答:収録カメラマンが保守も行うため、公演記録日と保守業務日が重なると履行ができない。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 引き続き、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 改善策の方向で適切な措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 十分な業務等準備期間を確保しつつ、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|-------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 9 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度国立能楽堂構内で使用する電気の調達 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社F-Power | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年1月8日 入札公告 | |
| | 平成27年3月2日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年3月12日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | × | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は20日間しか確保できなかった。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は63日間43営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 契約電力等が、社の基準に合わなかった。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 一般競争の実施について、広く参加を促すとともに、公告時期を早め、他法人等が一般競争を実施する時期と重ならない時期を設定する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 改善策の方向で適切な措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 十分な業務等準備期間を確保しつつ、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|-------------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 10 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度国立能楽堂座席字幕表示装置運用及び定期保守業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社イヤホンガイド | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年1月19日 入札公告 | |
| | 平成27年2月19日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年2月24日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は36日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は36日間25営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 機材の貸出しまで含めた仕様でないため、社の方針に合わなかった。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 劇場特有の業務であり、機器の特性を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、参加資格の改善策を検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 劇場特有の業務であり、競争参加の可否を調査した上での適切な改善措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 業界の状況を調査し、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式の適否を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|---|--------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 11 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度国立文楽劇場自主公演 字幕表示等業務 | |
| 契約締結日 | 平成27年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社イヤホンガイド | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年2月17日 入札公告 | |
| | 平成27年3月2日 競争参加申請書類提出〆切 | |
| | 平成27年3月4日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は28日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は15日間11営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 本件業務に係る業者は東京に集中、関西に支店等もなく、請負が困難。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 劇場特有の業務であり、同業他社の競争参加の可否を調査した上で、契約方式を随意契約にすべきか検討する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 劇場特有の業務であり、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 業界の状況を調査し、競争参加業者の有無を確認した上で、契約方式を随意契約とする。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

| | | |
|--|----------------------------|---|
| 法人名 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | |
| 案件番号 | 12 | |
| 入札及び契約方式 | 一般競争入札 | |
| 契約の件名及び数量 | 平成27年度国立文楽劇場友の会会報の製造及び発送業務 | |
| 契約締結日 | 平成26年4月1日 | |
| 契約の相手方の商号又は名称等 | 株式会社図書印刷同朋舎 | |
| 入札経緯及び結果 | 平成27年2月10日 入札公告 | |
| | 平成27年2月24日 競争参加申請書類提出×切 | |
| | 平成27年2月26日 開札 | |
| 一者応札・応募等の改善取組内容 | | |
| 改善項目 | 状況 | 具体的な取組内容 |
| ①仕様書の見直し等 | ○ | 業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。 |
| ②業務等準備期間の十分な確保 | ○ | 業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、27年度は39日間確保した。 |
| ③公告期間の見直し | ○ | 平成22年度から10営業日以上とし、27年度は16日間11営業日。 |
| ④公告周知方法の改善 | ○ | 平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。 |
| ⑤電子入札システムの導入 | × | 検討中 |
| ⑥業者等からの聴き取り | ○ | 不参加業者 |
| 回答内容 | | 他に受注案件があり、本件への対応が困難。業務の一部を外注しなければならず、費用が嵩む。 |
| 法人における事後点検の結果講ずることとした措置 | | |
| 業務の特性を踏まえ、類似案件を参考に、より参加しやすい方向に改善する。 | | |
| 契約監視委員会のコメント | | |
| 改善策の方向で適切な措置を期待する。 | | |
| (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) | | |
| 業務の特性を踏まえ、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。 | | |
| 本案件を審議した契約監視委員会の委員 | | |
| 伊田若江委員、笹川隆司委員、徳丸吉彦委員、藤川裕紀子委員 | | |

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。